



1

1 南側から撮影。敷地内の桜が満開になり、春の訪れを告げる

2 当時の建物では珍しい、塔屋を持つ木造2階建ての構造。「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」などで知られる宮沢賢治も度々足を運んでおり、作品が生まれるきっかけとなった場所と考えられている

3 展示室「星」には、当時の貴重な資料や実際に使用された器械などが展示されており、旧緯度観測所の歴史を振り返ることができる



2



3



奥州宇宙遊学館

# 奥州遺産

— ときを越え

受け継がれるもの —

第127回

## 奥州宇宙遊学館

(旧緯度観測所本館・国登録有形文化財)

### 水沢星方丘町

国立天文台の中で、最も古い歴史を持つ水沢V L B I観測所。その一画にあるドイツ風建築の建物が奥州宇宙遊学館だ。国立天文台の前身である旧緯度観測所として大正10(1921)年に建設。先人たちは宇宙の研究に傾注し、緯度観測所は世界の観測をリードする存在となった。平成17年、老朽化により建物を取り壊す計画が浮上するが、市民から保存活用の声がわき起こる。その結果、科学を学ぶ生涯学習施設として保存が決定。天文台は市へ建物を譲渡し、国際的な研究施設であった建物は、20年4月「奥州宇宙遊学館」として新たなスタートを切った。館内には、旧緯度観測所の歴史などを紹介する常設展示のほか、セミナー室では、企画展や各種イベントも開催。幅広い世代が施設を利用していき。

旧緯度観測所の歴史を受け継ぐ奥州宇宙遊学館。宇宙の謎に迫った研究者たちのロマンは、約百年の時を越え、今もなお奥州宇宙遊学館の中に生き続けている。

## 広告

◎広告の問い合わせは、(株)東広社 (☎ 0197-64-1523)